



こんにちは！ 日本共産党の

大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

2007年7月20日 62

〒319-1112

東海村村松2401-2

oona_toukai@yahoo.co.jp

電話・ファックス 029-284-0761

新潟県中越沖地震で被災された方々に
心からお見舞いを申し上げます

「強震動 想定外」そのとき原発で何が

避けられない耐震基準の見直し

ほぼ直下ともいふべき近距離で起きた地震で、設計時の想定を大きく上回る揺れに襲われた柏崎刈羽原発。地震による被害の様子が少しずつ明らかになってきています。東京電力の発表をもとに、再現すると……。

新潟県中越沖地震が発生したのは16日午前10時13分。強烈な揺れが原発を襲いました。運転中の3,4,7号機と、起動操作をしていた2号機はすぐに緊急停止しました。揺れの強さが、緊急停止の基準値（水平方向で120ガル、垂直方向で100ガル＝ガルは加速度の単位）を超えたためです。

その2分後、3号機に設置されている変圧器で火災が発生しているのが発見されました。炎と黒煙がテレビで放送されました。鎮火したのは、火災発見から約2時間後の午後零時10分でした。

午後零時50分ごろ、6号機原子炉建屋三階と中三階で水漏れが発見されました。しかし、この水に放射能が含まれているのを確認したのは午後6時20分。漏れた水が放水口を經由して海に放出されていたと公表したのは午後10時でした。

「午後6時30分現在」として発表された文書に、水漏れの情報はありませんでした。この文書では、午後3時45分ごろ、1,2,3号機で相次いで、使用済み核燃料プールの水位が低下して警報が出たことが記されています。東電の説明によると、プールに水を送るポンプが止まったため、午後4時15分までに正常に復帰したとしています。

地震で襲った揺れの強さはどれくらいだったのか、午後5時半に本紙が問い合わせたところ、「復旧作業を優先しており、調査中でわからない」という返事でした。それが発表されたのは午後8時ごろでした。

明らかにされたデータは驚くべき揺れの強さを示していました。（表参照）

これまでも、地震波を解析した結果、ある周期の範囲で、設計時に想定された揺れを上回っていた例はありました。2005年8月16日の宮城県沖地震の際の女川原発（東北電力）、今年3月25日の能登半島地震の際の志賀原発（北陸電力）などです。しかし、地震直後の観測記録で、設計時の想定を大幅に上回ったのは初めてです。

これまで電力会社は、設計時の揺れを上回る地震動が観測されても、「原発は岩盤に設置してあるから、普通の地盤よ

■柏崎刈羽原発で観測した地震動と設計値（加速度）

	方向	南北	東西	上下
1号機	観測値	311	680	408
	設計値	274	273	235
5号機	観測値	277	442	205
	設計値	249	254	235
6号機	観測値	271	322	488
	設計値	263	263	235

（単位はガル）

りも揺れが2分の1から3分の1になるから大丈夫」などと説明してきました。政府も、これを容認してきました。

しかし、今回は原子炉が設置してある場所の揺れを直接測定したものです。政府も、「耐震設計基準の見直し」を表明せざるをえなくなりました。

直近の地震で強い揺れに襲われた原発で何が起きたのか、徹底した究明が求められます。

(7月18日付「しんぶん赤旗」 前田利夫)

原発停止を命令 柏崎市長

今回の中越沖地震で火災などトラブルが多発した東京電力の柏崎刈羽原子力発電所について、柏崎市の会田洋市長は18日、「今の段階では安全が確保されているとは言えない」として、消防法にもとづき同原発の全号機に緊急使用停止命令を出しました。

市によると、停止命令の対象は屋外タンクなどの危険物施設ですが、実質的に原発の運転再開ができないこととなります。

経済産業省は東京電力に対し、耐震安全性が確認できるまで、同原発の全号機の運転を再開しないよう指示しています。

東海第2発電所の安全確保対策について

日本共産党県議団・村議団が県・村・原電に申し入れます

申し入れ日時 7月25日(水)

茨城県	午前9時～
東海村	午前10時30分～
原電	午前11時30分～



大名 地震発生時、自宅に友人といましたが、大きな揺れ方に、みんなで「“めまい”がしたのかと思った」と、驚きの声をあげました。

『想定外』の大地震により変圧器が燃える火災が発生してしまいました。しかしこれを自力で消火できなかったのは、原子力発電所のあり方として大変深刻な問題です。

阪神・淡路大震災が起きた12年前に、安全神話がおおもとから問われました。700ガル、800ガル程度の地震は全国で起こりうるということが明らかになったと思います。安全基準の見直しは急務です。

原発では『想定外』はあってはならないことです。